



# 湊江中学校だより

令和2年度  
第8号  
3月9日(火)

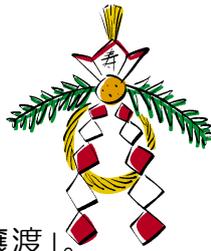
教育目標 : 『よく考え 自ら学ぶ人』・『正しく判断し 実行する人』  
『礼儀正しく 情操豊かな人』・『心身ともに健康な人』



湊江中HP

## 「ゆずり葉」の心

「ゆずり葉」をご存じでしょうか。  
ユズリハ科ユズリハ属の常緑高木で、  
高さは10mほど。葉は長さ20cmほどで、  
枝先にらせん状についています。花は5  
月から6月に咲きます。新しい葉が生長  
した後に古い葉が落ちることから、親が  
成長した子どもに後を譲る  
ことにたとえて、おめでた  
い木とされ、古くから正月  
飾りに使われています。



ゆずり葉の木言葉は  
「若返り」、「世代交代」、「譲渡」。

次の詩は、河井醉茗（1874年～19  
65年）の「ゆずり葉」という詩です。

### ゆずり葉

河井 醉茗

子供たちよ。  
これはゆずり葉の木です。  
このゆずり葉は  
新しい葉が出来ると  
入り代わってふるい葉が落ちてしまうのです。

こんなに厚い葉  
こんなに大きい葉でも  
新しい葉が出来ると無造作に落ちる  
新しい葉にいのちをゆずって――。

子供たちよ  
お前たちは何をほしがらないでも  
すべてのものがお前たちにゆずられるのです。  
陽のめぐるかぎり

ゆずられるものは絶えません。

かがやける大都会も  
そっくりお前たちがゆずり受けるのです。  
読みきれないほどの書物も  
みんなお前たちの手に受け取るのです。  
幸福なる子供たちよ  
お前たちの手はまだ小さいけれど――。

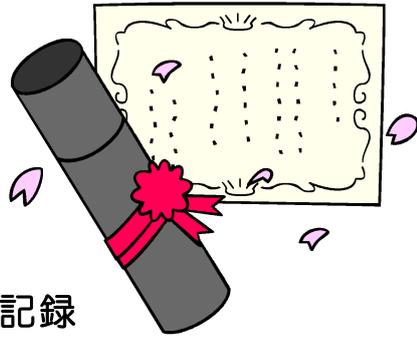
世のお父さん、お母さんたちは  
何一つ持ってゆかない。  
みんなお前たちにゆずってゆくために  
いのちあるもの、よいもの、美しいものを、  
一生懸命に造っています。

今、お前たちは気が付かないけれど  
ひとりでのいのちは延びる。  
鳥のようにうたい、花のように笑っている間に  
気が付いてきます。

そしたら子供たちよ、  
もう一度ゆずり葉の木の下に立って  
ゆずり葉を見る時が来るでしょう。

3月は別れの季節です。今まで築き上  
げてきたものを次世代に引き継ぎ、そし  
てそれを受け継いだものは、さらに良き  
ものを次の世代に引き継いでいく。

そんな営みの重さと大切さをしっかりと  
受け止め、感謝と覚悟をもって、この  
3月を過ごしたいと思います。



## 生徒活躍の記録

### ○薬物乱用防止ポスター

佳作 劉 馨憚さん (2-3)

### ○ビューティフル・スクール運動

渚江中学校生徒会

- ・元気なあいさつができる学校づくり
- ・全力で頑張る行事
- ・エコキャップ運動

### ○青少年対策花畑地区委員会

善行青少年顕彰

稲子 彩さん (3-2)

### ○足立区教育委員会生徒褒賞

区長褒賞 中学生の税についての作文

住永 萌さん (3-1)

区長褒賞 手作りマスク

稲子 彩さん (3-2)

区長褒賞 空手・関東規模の大会優勝

仲澤 紅瑠美さん (3-4)

### ○図書館を使った調べる学習コンクール

佳作 大河原 夏希さん (2-3)

佳作 米沢 愛羽さん (2-3)

佳作 倉澤 美海さん (2-5)

学校賞 堀越 彩未さん (2-1)

学校賞 高橋 壱夢くん (2-5)

## 今後の予定

3月18日(木) 三年生を送る会

※撮影したビデオを各教室で見ます。

3月19日(金) 卒業式

※3学年保護者あての通知をご覧ください。

3月22日(月) 2年 学年レク

3月23日(火) 1年 学年レク

3月24日(水) 保護者会

※1、2学年保護者あての通知を配布予定です。

3月25日(木) 修了式

## 令和2年度を振り返って

結局、新型コロナウイルスの影響により、多くの教育活動を断念しなければならぬ1年間となってしまいました。

しかし、本校生徒のたくましさと行事等への熱意、落ち着いた日常生活は変わらず健在です。

着実に成長した生徒たちは、ビデオ・展示鑑賞会や三年生を送る会等の行事に教員と共に全力で取り組み、その頑張りによって、今年もまた感動を生み出してきました。今までになかった撮影の工夫や新しいアイディア、生徒自身の手による撮影や編集等、渚江中だからできる素晴らしい作品ができあがりました。

ただし残念なことに、やはりビデオでの鑑賞には限界がありました。ビデオ撮影の現場で見る生徒の生き生きした姿を、モニターを通して見るビデオでは十分に伝え切れているとは言えません。ライブと録画の違いを痛感した一年でもありました。

「もっとすごいのに。」  
ビデオを鑑賞しながら感じるこのもどかしさを、来年度以降の糧として欲しいと願っています。

そしてもう一つ残念なことは、「渚江中の」上級生の姿を、その保護者や下級生に見てもらえなかったことです。上級生にあこがれ、それを乗り越えようとする中で下級生が成長していく。そんな渚江中の伝統を、今年は生かし切ることができませんでした。

令和2年度が終わり、新たな年度を迎えようとしています。

渚江中は立ち止まりません。未来に向けてチャレンジする姿をどうぞご覧いただき、さらなるご支援をお願いします。

